

令和5年度学校評価等へのご意見及びご質問等について  
(学校評価に関する改善)

令和5年度学校評価について

- 本校の2年生で取り組まれているインターンシップ制度は、私の知る限りでは非常に評価を受けているものと考えています。生徒も2年時に経験することで、将来の進学や就職の選択に非常に大きな影響を与えている取組ではないかと思えます。しかしながら、学校自己評価の中で昨年度の「A」評価から「B」評価になっているのは、どうしてでしょうか？

【回答（校長）】

令和5年度も同様の取り組みを実施しました。反省会では、危険を伴う実習もあり、生徒、受け入れ企業様により丁寧に細やかな依頼が必要であるという意見が出ました。来年度はさらに安全、安心に配慮し、充実できるよう努めます。

- 評価の点で32項目中C評価が2つ（○生徒指導部と学年の連携を密にし、生徒指導が効果的に行われているか。○定時退勤日、ノー会議デー、ノー部活デーが実効性ある取組となっているか。）あとはB評価（よくできた）。おしなべて良好というところだと思いますが、みんなで力を合わせてこの点は取り組みを強めたいというメリハリの利いた取組でA評価を2つや3つ、つくことも全員協力の励みになるのではないかと思います。いかがでしょうか。

【回答（校長）】

令和5年度も生徒指導部と学年の連携だけでなく、学科も含め、連携した生徒の指導に努めてまいりました。また部活動計画表の提出等により、いきいき運動部活動等の遵守に努める等、重点的に取り組んでまいりましたが、令和6年度はさらに実効性のある取り組みを推進いたします。

- 従来の「産高ニュース」の展示だけでなく、学校全体としてのインスタグラムが開設されたことで、各担当を持たれている先生方が積極的に活用され、情報や魅力を発信されたことにより、さらに保護者や生徒、本校に進学を希望されている中学生等に向けてよりPRに繋がったのではないのでしょうか。今後はHPの早期リニューアルに期待します。

【回答（校長）】

多くの方のご意見を賜り、丹波篠山市のご支援を受けながらリニューアルを行っております。しばらくお待ちください。

### 3 その他（ご意見）

- 令和5年度の重点目標・実践項目・年間まとめを拝読させていただきました。全体的に各部・各科・各学年の頑張りが見える出来ばえとなっており、素晴らしいものだったと思います。敬意を表したいと思います。
- 教科指導・生徒指導・進路指導等は学校生活を活性化するためにも欠かすことができない分野であります。特に生徒指導はその予防と迅速な対応が求められます。後手後手にならないようお願いいたします。毎日の清掃活動も大事な要素です。きれいな学校、ごみのない学校を今後とも目指したいですね。
- 【各科の取組の充実】地域と連携した活動を通じて、生徒の自己有用感や地域を支えていく意識を高揚させているか。（評価B）について  
机上の学習も大切ですが、地域の人とコミュニケーションを交わしながら活動するのもたいへん意味があると思います（例：里山工房くもべ・・・お菓子、お花の販売等）。地域の人も若い高校生が活躍していることに喜びを感じておられると思います。これからも外へ出かけ、老若男女を問わずモノづくり等を通して地域との結びつきを深めていってほしいです。
- 中学3年生が高校受験するときに市外の高校を受けてしまい、定員割れが続いていること、校長先生はじめ先生方も悩んでおられることと察します。中学校教員対象にした行事やオープン・ハイスクールを開催されるなど、ご尽力されていることに感謝いたします。地道な努力が実を結びますので、今後とも市内の高校をアピールするような事業を展開されることを期待します。
- 例年行われている学校評価の取組、まことにご苦労様です。日々の取組の計画、実践、評価は非常に大切なことで高く評価されるべきことです。評価の内容について特に指摘することはもちろんありません。
- 【勤務時間の適正化 定時退勤日、ノー会議デー、ノー部活デー】実効性ある取り組みとなっているか。（評価C）【働き方改革】（評価B）について  
難しい面もあるかと思いますが、無理のない勤務時間で心身ともに健康な状態で生徒向き合えるよう取り組んでください。
- 【授業や補習等の工夫】わかりやすい授業、達成感のある授業や補習、宿題等の工夫がなされているか。（評価B）について  
総合ビジネス科では資格取得を目指して「検定ウイーク」を2週間設定し、集中的に取り組んでおられます。長男、次男共に同じ道を歩んでいる中、息子たちを見ていると非常に意欲的に取り組んできたと思っています。それは先生方の取り組みの方向性が子供たちによく伝わっているからであり、そういった雰囲気づくりをうまくされているからであり、工夫と努力があるからだと思っていますので、ぜひ本校の特色として今後もPRをお願いします。

- 【教職員の協働体制の確立】教職員の協働により、総合的な学習の時間が生徒のキャリア発達に成果をあげているか。(評価B)【働き方改革】学校として働き方改革に取り組んでいるか。(評価B)について

生徒のキャリア形成に向け、先生方がその培われた経験を年配、若手職員関係なく、生徒に寄り添って伝えていくことは何より重要と考えている一方で、4科の中で仕分けをすると担当としての守備範囲や、得手不得手も先生方の中にはあるのかもしれませんが。その先生方のご負担をうまく均質化できれば、生徒には特に分野で秀でた先生に教えを受けることもでき、また先生にとっても負担の軽減になるのではないかと考えますし、結果、先生方の働き方改革にも繋がるのではないのでしょうか。裏を返せば、年功序列型や役職、あるいは現役と再任用という垣根の中で、特定の先生に負担が偏ることのないようご配慮をお願いいたします。すべての先生方が気持ちよく働き、生き生きと仕事や部活動に顧問として参加でき、ゆとりを持ったメリハリのある仕事ができることが、結果、生徒に寄り添った教育に繋がっていくのではないのでしょうか。

【回答(校長)】

保護者・地域・関係機関からのご助言・ご理解をいただきながら、生徒が主体的で対話的な深い学びの醸成につながるよう邁進してまいります。